



巻頭言

呼吸器外科 診療科長

やまもと しげる
山本 滋

当院に呼吸器外科が開設されてから、早いもので5年半が経ちました。現在全身麻酔下の呼吸器外科手術は開設より250例を超えております。これまで安心・安全に診療を続けることができました。スタッフをはじめ当科に関わってきた方々に改めて心より感謝申し上げます。

呼吸器外科では肺がん、自然気胸、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、膿胸など、肺や胸にかかわるさまざまな病気を診療しています。



現在、肺がんの治療では、手術だけではなく、遺伝子の特徴に応じた分子標的薬や、患者さん自身の免疫の力を利用する免疫療法など、さらにそれらを手術と組み合わせるなど、さまざまな治療方法を選択できる時代となりました。毎週木曜朝には、これまで同様、他科との呼吸器カンファレンスを行い、外科治療に偏らず、患者さんにとってより良い治療法の検討を重ね、その結果を患者さんへ提示し選択していただいております。また、治療により患者さんご本人が離職することが無いように心がけております。

本年6月から、当科の診療体制も新たな一歩を踏み出しています。昭和医科大学病院（旗の台）の小林正嗣教授に、第1・第3金曜日の午前外来および午後手術にご協力いただき、外来・手術共にこれまで以上に充実した体制で診療を行えるようになりました。

引き続き、「肺に影があると言われた」「胸痛があり、気胸なのではないかと心配している」「手術が必要と言われたけれど不安がある」。そんな時に、当院予約センターへ、あるいはおかけの先生から、当院医療連携室へご連絡いただければと思います。

この病院だよりは150号となりました。4年後の秋、200号が発行されるころにも、今と変わらず一人ひとりの患者さんに寄り添った、安心・安全な、そして最新の医療を提供できるよう努め続けたいと思います。



第150号のトピックス

- 巻頭言（呼吸器外科）
- 公開講座連携記事（視能訓練士）
- 江東区立豊洲西小学校との交流
- 世界糖尿病デーイベント開催のお知らせ
- ご意見・ご要望
- 編集後記

目の健康寿命をのばそう

『アイフレイル』ってご存知ですか？

視能訓練士 / そのべ だいすけ 園部 大輔

日本語に訳すと『目の衰弱』という意味です。目も身体の一部なので、年齢を重ねるごとにどうしても衰えてきてしまいます。また、目の病気にもなりやすくなってしまいます。

日本は、長寿の国です。2022年の調査では、平均寿命は男性81.1歳、女性87.1歳で男女とも80歳を超えました。しかし、もう一つの寿命と呼ばれている健康上の理由で日常生活に制限なく生活できる期間の健康寿命は、2022年の調査で男性72.6歳、女性75.5歳で、平均寿命と健康寿命には、男性8.5年、女性11.6年の差がありました。長生きするだけでなく、健康で長生きしていただくためには、この差を縮めていかなければなりません。

人間は外界からの情報の80%を目から取り入れています。目が見えにくくなってしまうと転倒や骨折の危険性の増加、こころの不調や認知機能の低下、交通事故の危険性の増加、社会参加の機会の減少など日常生活に様々な悪影響が出てしまいます。

例えば、年齢を重ねることにより発症してしまう代表的な目の病気である白内障の手術により、見えにくかった目がよく見えるようになると、転倒や骨折の危険性の減少、こころの不調や認知機能の改善、交通事故の危険性の低下、社会参加の機会の増加など日常生活に様々な好影響があります。

目の健康寿命をのばすためには、検診や日々のセルフチェックなどにより、目の異常を早期に発見し、眼科で早期に治療をしていただくことがもっとも重要です。

がんばってきた目をこれからも大切にして、目の健康寿命をのばしていきましょう。

アイフレイル チェックシート

40歳を過ぎたら
加齢による目の機能低下を
自己点検しよう

2つ以上当てはまったら、
アイフレイルかも。
眼科でご相談
ください。

1 目が疲れやすくなった	2 夕方になると 見えにくくなるが増えた	3 新聞や本を長時間 見ることが少なくなった
4 食事の時にテーブルを 汚すことがたまにある	5 眼鏡をかけてもよく見えない と感じることが多くなった	6 まぶしく感じやすくなった
7 はっきり見えない時に まばたきをするが増えた	8 まっすぐの線が波打って 見えることがある	9 段差や階段で危ないと感じたことがある
10 番号や道路標識を見落とし そうになったことがある	☒ チェックが 0 の人は あなたの目は今のところ健康です。 変化を感じたら、またチェックしてください。 1 つの人は 目の健康に懸念はありますが、 直ちに問題があるわけではありません。 アイフレイルかもしれません。 一度、眼科医にご相談ください。 2 つ以上の人は	

アイフレイルチェックシート Ver. 1.1 (2023年11月改訂) 眼科医の監修に基づき、最新の知見を反映し、理解しやすい表現に変更しました。

出典：アイフレイル啓発公式サイト
<https://www.eye-frail.jp/>



江東区立豊洲西小学校との交流

9月8日（火）と9日（水）の2日間、当院の中庭に江東区立豊洲西小学校の1・2年生の皆さんが訪れ、にぎやかに昆虫探しを行いました。子どもたちは、中庭を元気に駆け回りながら、トンボやチョウ、バッタなどを見つけるたびに大きな歓声を上げていました。自然に触れる経験を通じて、子どもたちの好奇心や学びの心が育まれるひと時となりました。



Pick up

世界糖尿病デーイベント開催のお知らせ

内科（糖尿病・代謝・内分泌内科）／ おさむら あんな
長村 杏奈

最新の調査では、糖尿病が強く疑われる人は全国で約1,100万人と推計されており、これは日本の成人のおよそ10人に1人に相当する数字です。初期の糖尿病は自覚症状がほとんどありません。糖尿病予防・早期発見のために、血糖検査を受けましょう。当院では世界糖尿病デーに合わせて、糖尿病啓発イベントを開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2026年11月20日（金）10時～13時

開催場所：昭和医科大学江東豊洲病院

2階エスカレーター前

申し込み：不要（当日直接会場へお越しください）

費用：無料

内容：血糖値とHbA1c※測定（先着100名）、
糖尿病専門医師による結果説明と個別相談、
糖尿病に関するパンフレットの配布、管理
栄養士・薬剤師による展示

※HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）：
過去1～2か月の血糖値の指標となる検査値
HbA1cの測定には10分程度かかります。

世界糖尿病デー イベント開催のご案内



world diabetes day

開催日程

2026年11月20日（金）10:00～13:00

場所：昭和医科大学江東豊洲病院 2階エスカレーター前

イベント内容

- 血糖値、HbA1cの測定（先着100名）
- 糖尿病に関するパンフレットの配布
- 医師による個別相談
- 管理栄養士・薬剤師による展示

（※HbA1c：過去1～2か月の血糖値の指標となる検査値）

11月14日は
世界糖尿病デーです。
初期の糖尿病では自覚症状がほとんどないため、
気づかないうちに進行していることがあります。
この機会に血糖値をチェックしてみましょう。
糖尿病の知識を持ったスタッフが質問にお答えし
ます。
（HbA1cの測定に10分程度かかります）

**参加無料！
申込不要！**



主催：昭和医科大学江東豊洲病院 内科（糖尿病・代謝・内分泌内科）
医師（藤川大輝、白神佳枝、袴田悠輝、黒川育朗、長村杏奈）
看護師、管理栄養士、薬剤師、他

ご意見・ご要望

感謝	回答
医師だけでなく看護師、その他様々な職種の方のチーム支援が素晴らしく、本人も家族も安心して入院生活を送ることができました。施設がきれいなことだけでなく、面会システムも患者家族に寄り添ったものであることを実感いたしました。短い間でしたがありがとうございました。	御礼のお言葉を頂戴し、誠にありがとうございました。入院生活を送る中、不安感があったと思います。その中で患者さんをはじめ、ご家族の皆さんに安心を感じていただける対応ができたこと、スタッフの励みになります。今後もさらに良い看護ができるよう精進努力いたします。  回答：8B 病棟
感謝	回答
切迫早産のため、突然約 1 か月の入院となりました。先生方には退院時期や紹介先について、私の希望を尊重してくださり、親身に調整いただきました。また、助産師の皆さんにも毎日親切に優しく接していただき、安心して入院生活を送ることができました。本当にありがとうございました。	患者さんの貴重なご意見・ご感想を拝見し、感謝しております。スタッフにも報告し、また一層、診療に取り組んで参ります。  回答：産婦人科

編

集

後

記

朝夕の心地よい風に秋の深まりを感じる季節となりました。

秋は寒暖差により脳卒中や急性心筋梗塞、大動脈解離などの循環器疾患や、気管支喘息のリスクが高まる時期です。特に注意をしたいのが、室内での急激な温度変化による血圧の急変動です。入浴前にシャワーで浴室や脱衣所を温めておくなど、寒暖差を小さくする住環境の工夫が予防につながります。寒い季節はあっという間に来るものです。衣替えの準備も余裕をもってしておくといよいでしょう。

また、旬の「さんま（EPA・DHA）」や「きのこ（食物繊維）」といった、コレステロールや血圧の管理に役立つ秋の味覚を取り入れるのもおすすめです。

当誌が、患者さんや地域の皆様の健康を守る一助となれば幸いです。季節の変わり目、どうぞお体を大切にお過ごしください。

心臓血管外科 尾仲 紘輔



昭和医科大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和医科大学江東豊洲病院
ホームページ

